

Discussion Meeting on String Field Theory and String Phenomenology 参加報告書

素粒子論研究室博士課程 2 年 竹寄智之

2018 年 3 月 6 日

私は、「修士・博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」に採択され、2018 年 2 月 11 日から 2 月 15 日にかけてインド北部の Harish-Chandra Research Institute で開催された研究会「Discussion Meeting on String Field Theory and String Phenomenology」に参加しました。これは一年に一度、弦の場の理論および関連する領域の研究者が参加する国際会議で、今回は世界中から約五十名が参加しました。私は今回、超モジュライ空間に基づく超弦の場の理論の定式化に関する研究について、「Open superstring field theory including the Ramond sector based on the supermoduli space」というタイトルで口頭発表を行いました。英語での発表にはつたない箇所も多かったと思いますが、同じ分野の研究者の方々に話を聞いていただけたことは、大きな刺激になりました。

また、同研究会では Theodore Erler 氏による発表「New solutions from boundary condition changing operators」や、国友浩氏による発表「Toward a complete action for heterotic string field theory」など、多くの興味深い最新の結果について、講演を聞くことができました。研究会以外だと、研究所では毎日バリエーション豊かなカレーを食べるといふ、インドならではの経験ができました。本研究会への参加を通して、視野を広げ、研究のモチベーションを高めることができました。参加を援助していただいたことに、感謝の意を表します。



図 1. 研究所の敷地内。乾季だったこともあり、過ごしやすい場所でした。